

山本ようすけ

緑たちかわニュースNo.16(2024年度 冬号)

政治は行き詰まりや混乱の時代を極めているように思えます。昨今の選挙で見受けられるデマを含む情報の氾濫や誹謗中傷、尊厳を無視した正義感の暴走にも危機感を抱いています。

こうした政治情勢の中で私たちが取るべき指針は、あくまで政策に立ち返ることだと信じています。政治は一過的な見世物ではなく、私たちの暮らしそのものです。日々の市の政策ときちんと向き合い、発信していくことこそ、今の議員に求められていることだと考えています。このレポートで市政のことを少しでも身近に感じていただければ、何よりの幸いです。



安心して、学び、暮らし、働いていけるように…

学習支援の拡充を！



学びの機会は平等であるべき！市主催の無料学習教室(中学生対象)の拡充を以前から要望し、23年度から西砂地域で増設が実現。現在は5カ所で運営しています。今後はオンライン実施や会場の更なる増設等、更に多くの子どもたちが利用できるよう、引き続き求めていきます。(24年3月議会 一般質問)

夏の学校、暑すぎませんか？



夏休みの前でも、教室の室温が30℃を超えることもあることが明らかになりました。これでは授業に集中できないだけでなく、熱中症も心配です。学校の断熱化は省エネや環境教育の観点からも有用です。学校の断熱改修を強く求めました。

(24年9月議会 一般質問)

新しい働き方の模索を！



フルタイムで様々な業務をこなしながら、週5日働くというスタイルか、それができなければ不安定な非正規雇用か…両極端だし、どちらも結構大変じゃないですか？

昨今ではパートタイムでも正規雇用をしたり、本人の適正に見合った業務に特化した雇用など、ユニバーサル就労(中間的就労)の在り方が注目を集めています。市の就労支援でも、こうした雇用を民間に働きかけられないか質問しました。それぞれのスタイルで生き活きと働けるような社会を目指していきたいと思います。(24年3月議会 一般質問)

住まいの安心を！



「引っ越さなければいけないが、高齢を理由に入居を断られてしまった…」

「家賃が払えずに路上生活に…」

日々、多くの切実な声をいただいています。毎週木曜日に市役所で実施している居住相談窓口は予約がほぼ埋まり、多くの人に利用されています。誰もが安心して住み続けられる立川市を目指し、相談枠の増設、高齢者の入居に理解のある不動産協力店の増加や、住まいを失った人のためのシェルター設置などを求めました。(24年6月議会 一般質問)

安心して、住み続けられる地球であるために…

公共施設では100%再エネ達成！

市役所とリサイクルセンターの電力は、「たちむにい」のごみ焼却を利用した発電で全量、その他の学校や学習館、競輪場などの公共施設も再エネ100%のプランで電力契約を結び、市の使用電力は実質的に100%再エネを達成しました。議員になってからずっと求めてきたことで、とりあえずは達成できたことに嬉しく思います。しかし、国の算出基準で、原発も再エネ扱いになってしまうなどの課題などもあります。こうした課題も考慮したり、今後も再エネ調達を続けていけるよう、努めていきます。

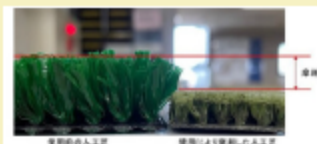
(24年9月議会 一般質問)

プラスチック対策の推進を！

多摩川で泳いでいる魚からもプラスチックが検出されているとのこと、私たちの健康への影響も心配です。

市としても、公共施設の人工芝などが摩耗して自然環境に流出しないような対策が必要だと考えています。多摩市では市のテニスコートで流出抑制の取り組みもしており、今後の立川市でも同様の対応を求めました。

(24年9月議会 一般質問)



←摩耗する人工芝
(多摩市HPより)

若い人たちの声が市政に反映されるように…

若者会議、いよいよ実現！？

6年前、私が議員になって初めて取り上げたテーマが若者議会(会議)でした。市内在住(あるいは在勤在学)の若い人たちが市に対して政策提案を行える場を設けることはとても有用で、今後、本格的に始動していく模様です。長年求めていたことが実現に向けて動き出したことは大変嬉しく、どのような展開になっていくのか、大いに期待しています。



↑12月に開催された中野区の若者会議報告会
5か月かけて議論した集大成を区長に提案しており、
若者らしい切り口で大変興味深かったです。

山本ようすけ

1990年 11月6日武蔵村山生まれ、稲城育ち
2009年 立川高校卒業
2014年 一橋大学 社会学部 卒業
外資系コンサルティング会社に就職
2018年 立川市議会議員選挙に初当選
2022年 立川市議会議員選挙、二期目の当選

会派「立憲ネット緑たちかわ」
基本構想策定特別委員会 委員
厚生産業委員会 委員長

【議会外の所属等】
NPO法人さんきゅうハウス理事、保護司
気候危機・自治体議員の会
緑の党グリーンズジャパン

【好きなこと】
歴史、博物館や美術館、街歩き、ゲーム
各種SNS等、「山本ようすけ」で検索！

厚生産業委員長に就任しました

6月の委員会改選により、厚生産業委員会の委員長に就任しました。当委員会は医療、福祉、介護、保険、年金、子育て、産業、観光、文化、スポーツなど、多岐にわたる分野を所掌しており、責任の大きさを実感しています。

今年から各委員会でテーマを設定して政策に取り組む「所管事務調査」が始まり、当委員会では「地域共生社会に向けた移動支援」をテーマに決定。課題解決に向けて前に進めるには党派や党派を超えた対話と協力が不可欠です。

プレッシャーを感じますが、先輩議員の助言を得ながら、公平で活発な委員会運営を目指して力を尽くしていきます。